



2024年10月11日

各 位

会 社 名 セレンディップ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 竹内 在
(コード：7318 グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 北村 隆史
(TEL. 052-222-5306)

株式会社イワキの株式の取得（子会社化）完了に関するお知らせ

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO 竹内 在 以下、当社）は、2024年9月4日付「株式会社イワキの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」で公表した通り、2024年10月11日付で、株式会社大垣共立銀行（本社：岐阜県大垣市、取締役頭取：林敬治）のグループ会社である株式会社OKB キャピタル（本社：岐阜県大垣市、代表取締役：岡田恒一 以下、OKBC）が運営する大垣共立事業承継2号投資事業有限責任組合と共同で設立したSPCを通じて株式会社イワキ（本社：三重県津市 以下、イワキ）の株式を取得し連結子会社化が完了いたしましたので、お知らせいたします。

なお、代表取締役社長には当社執行役員であり佐藤工業株式会社 代表取締役社長の植村達司が就任し、取締役には当社及びOKBCの役員及び従業員が就任いたしました。

記

1. 会社概要

株式会社イワキ

本社 三重県津市芸濃町棕本 2360 番地
代表者 代表取締役社長 植村 達司
事業内容 自動車金属部品製造（プレス・溶接加工）
設立 1964年3月
資本金 15,000千円
URL <https://www.i-wa-i.co.jp/>

株式会社OKB キャピタル

本社 岐阜県大垣市郭町二丁目 25 番地
代表者 代表取締役 岡田 恒一
事業内容 投資運用業
設立 1984年10月
資本金 100百万円
URL <https://okbcapital.co.jp/>

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本社 愛知県名古屋市中区錦一丁目5番地11号

代表者 代表取締役社長兼CEO 竹内 在

事業内容 経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

設立 2006年8月

資本金 1,142,734千円

URL <https://www.serendip-c.com/>

2. 株式会社イワキ 新経営体制

代表取締役社長 植村 達司（当社執行役員、佐藤工業株式会社 代表取締役社長）

取締役 園田 季一（当社グループ会社総括部長、佐藤工業株式会社 取締役）

取締役 竹内 在（当社代表取締役社長兼CEO）

取締役 土井 孝洋（OKBC ヴァイスプレジデント）

監査役 西山 一彦（当社取締役（監査等委員））

3. 今後の見通し

本株式取得に伴い、イワキは2024年12月31日をみなし取得日として当社の連結子会社となります。なお、本株式取得に伴う2025年3月期の通期連結業績に与える影響については、判明次第速やかに開示致します。

以 上

株式会社イワキの子会社化 について



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

2024年10月11日

金属プレス加工分野でのロールアップ型M&A

- 自動車部品の金属プレス加工を主力事業とする佐藤工業との類似性、親和性が高く、シナジー効果が期待できる

M&Aによるユニークな保有設備と技術の獲得



① 大型プレス機は電動化で重視される
高張力鋼材(ハイテン材)加工にアドバンテージ

佐藤工業が保有するプレス機の生産能力

25t	30t	35t	60t	110t	150t	160t	250t	300t	400t	500t
-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------

イワキが保有するプレス機の生産能力

150t	300t	400t	600t	800t	1050t	1500t
------	------	------	------	------	-------	-------

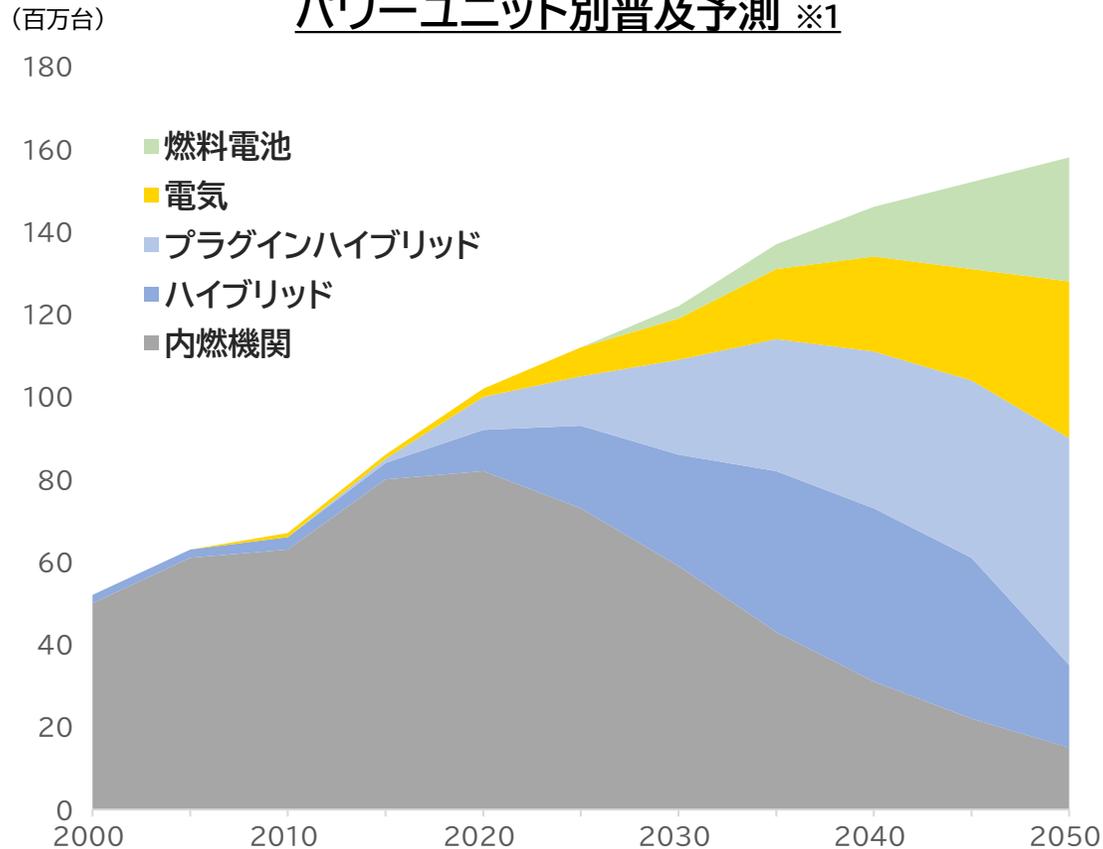
② 佐藤工業とイワキでは保有設備のサイズが異なり
両社でのカバー領域が拡大

自動車の電動化に負けない製品ラインナップを拡充

- 自動車業界ではEV化が進行するが、イワキのM&Aにより電動化に負けない製品ラインナップを拡充

進むEV

パワーユニット別普及予測 ※1



※1 IEA・ETP「2022年版中小企業白書」をもとに当社作成

電動化に負けないイワキの製品ラインナップ

主な製品は、乗用車向けのシート部品及びボデー部品

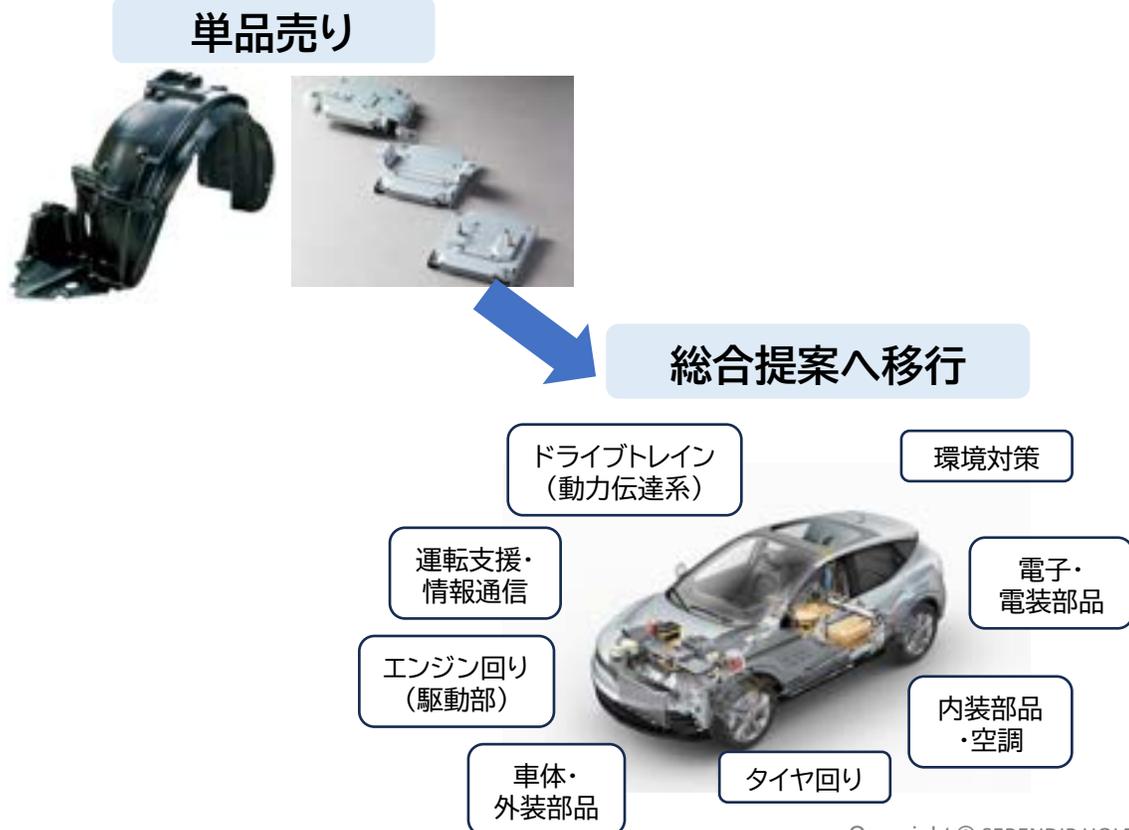


1. 自動車のシート、ボデー部品中心のため、電動化に左右されにくい
 2. 600t以上の大型プレス機は軽量化・高剛性化に優れたハイテン材の加工に最適
- ➡ イワキと佐藤工業のリソースを組み合わせ、電動化で需要が高まる軽くて強いボデー部品をグループ一体で拡販

セレンディップ・チャレンジ500における イワキ子会社化の位置づけ

- グループ化投資は、ロールアップ型M&Aにより、単品売りから機能・技術を軸に総合提案できる体制へ移行
- 機能・技術を軸としたロールアップ型M&Aを志向し、技術力と有力な販売チャネルを有する会社を事業承継M&A

単品売りから、機能・技術を軸に
総合提案できる体制へ移行



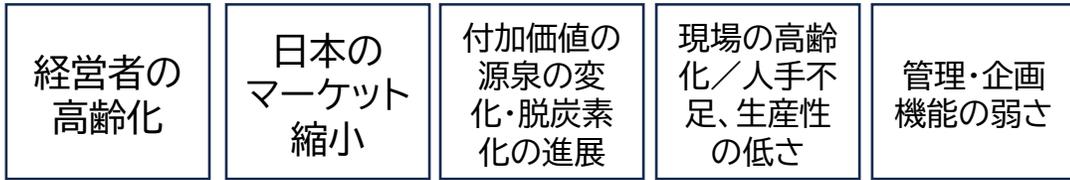
機能・技術を軸としたロールアップ型
の事業承継M&Aを志向



セレンディップ・チャレンジ500

中堅中小製造業の課題

日本の中堅・中小製造業が単独で持続的に成長するためのハードルが高まっている



セレンディップ・チャレンジ500

500億円

セレンディップの成長戦略

当社が日本の中堅・中小製造業の持続的成長モデルとなるべく連結売上高500億円を目指す

非連続的な成長を実現する
事業承継M&A

成長する世界市場に挑戦する
海外進出

新しい価値創造に挑戦する
高付加価値領域、脱炭素・EV化

製造現場の生産性を劇的に向上する
フューチャーファクトリー

中小・中堅企業が規模の経済を獲得する
ホールディングスの企画機能強化

連結売上高
500億円

営業利益
25億円

ROE
20.0%

200億円

2024年3月期

モノづくり
事業

プロフェッショナル
事業

インベストメント
事業

2027年3月期

株式会社イワ中 概要



株式会社イワ中の概要

代表者	代表取締役社長 植村 達司
本店所在地	三重県津市芸濃町棕本2360番地
設立	1964年 3月 5日
資本金	15,000千円
従業員数	182名 (2024年1月末)
売上高	7,166百万円 (2024年3月期)
事業内容	自動車金属部品製造 (プレス・溶接加工)
主要取引先	豊田鉄工株式会社、株式会社タチエス、株式会社三五、日本発条株式会社、株式会社エイチワン など

ハイテン材(高張力鋼)を材料とした自動車のボディ・シート用の部品を製造し、安定供給しています。付加価値向上のため溶接も行っています。

電動化の潮流の中で軽量化が進む自動車部品業界において、ハイテン材加工に有利な大型プレス機の豊富なラインナップが特長です。

Disclaimer

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。